

春のハイキングへ参加して

久居5万石 散策 8km

2024年5月11日(土)

1. ルート 近鉄「久居駅」→ 子午の鐘 → 高通公園 → 真光寺 → 玉淀寺 → 久居駅
2. 参加者 市川義行、伊藤利男、伊橋健治、喜吉 雄、塩野輝雄、高木 勉、伝田 貢、中村軍志、中村 衛、福本 泉 (敬称略) 10名
3. 参加報告

春のハイキングは良いお天気に恵まれ、参加メンバーは定刻に近鉄「久居駅」へ集合しました。いつものメンバーが何時ものように集まり、まずは、お互いの平穏無事な状況を確認しました。変わらずにハイキングへ参加できるのは、日頃の健康に対する心がけの為すところだと思います。皆さんマラソンやテニスやウォーキングに喫茶店での雑談など、外へ出て活発に動くことを心がけて見えるようです。「あたぼうヨ!」との答えが返ってきそうです。



久居駅での集合写真



浄福寺本堂

この時期、昼と夜の寒暖差が大きく15℃位あり、朝は10℃くらいで肌寒く、昼は夏日で25℃位になるようです。エアコンも朝は暖房、昼は冷房と忙しそうです。

少し肌寒いと感じる中、久居駅西口を出たところで恒例の集合写真を撮りました。

ハイキングコースの地図を手に出発しました。歩いてすぐのところに「浄福寺」がありました。

浄福寺掲示板の言葉

人生から返ってくるのは、
いつかあなたが投げた球

お寺の掲示板に上のよう書かれていました。因果応報と同義だと思いますが、このように言い換えると何か心にグサッと刺さるような気持ちになります。これからも自身の行いには注意したいと思いました。



浄福寺の石柱

歩きながら気が付いたのですが、道路に塗られている歩行者保護のカラーアスファルトには一定区間ごとに可愛いイラストや案内用の文字シートが貼られていました。

また、この辺りは城下町の名残でしょうか、旅籠町という町名になっていました。

少し歩くと久居八幡宮という立派なたたずまいの神社がありました。残念ながらご参拝はなく前を素通りさせていただきました。写真だけ取らせていただきました。

その後、今日のコースの一つである「子午の鐘(ときのかね)」を訪れました。当時、「久居に過ぎたるものは子午の鐘と小屋延庵」とうわさされたようです。入口は狭く、民家に囲まれた中にあるので、周囲からはほとんど見えないところに位置していました。

立札には次のように書かれていました。



子午の鐘(ときのかね)

子午の鐘は、もとは武家屋敷の中大手町にあり、時を知らせる鐘として元文元年(1736)、津の鋳物師辻越後種茂が37歳の時に作ったものです。

寛政元年(1789)に今の位置に移され、しばらく火事を知らせる鐘として使われていました。町の人々はたびたび奉行所へ復活するようお願い出て、寛政9年(1797)より時を知らせる鐘として再び撞かれるようになりました。

太平洋戦争期にこの鐘は供出されましたが、運よく町の人々によって発見され引き戻されました。

その後、昭和34年(1959)の伊勢湾台風では鐘楼堂ともに崩れましたが、鐘は無傷のままで幸運にも恵まれました。

現在も、大晦日に除夜の鐘撞が行われ、地域のたからとして大事に守られています。



次に休憩もかねて高通児童公園を訪れました。下記のような案内がありました。

【公園と久居の歴史】

高通児童公園は、かつての久居陣屋の一角にあり、公園内には久居誕生(高通入府)250年を記念した「御殿山の記念碑」、軽便鉄道開通に貢献した玉井丈次郎の顕彰碑、本村と久居町の合併記念碑、久居市の市章を掲げる青年像などがあり、久居の歴史に包まれた御殿山として、また桜の名所として、市民に親しまれています。



高通児童公園



御殿山の記念碑



玉井丈次郎顕彰碑



合併記念碑

公園内には遊具も設置されており、近所の人が小さい子供さんを遊びにつれてきて交流の場にもなっているようでした。差入れのお菓子を頂き、水分補給をして、十分な休憩を取った後、再出発しました。

道筋に大きな山門が見えてきました。扁額には青龍山と書かれておりました。お寺の名称は、青龍山千手院賢明寺というのだそうで、「伊勢西国三十三観音霊場」の第十三番札所です。楼門脇の格子の中には金剛力士像が鎮座しておられました。阿形、吽形の仁王像は、どちらもかわいらしく、親しみのあるお顔をして見えました。



賢明寺のりっぱな山門



楼門脇の仁王様

次に賢明寺のそばにある川併(かわい)神社へ参拝し、境内で昼食をとらせていただきました。差入れ頂いたシャンパンやチョコに舌つつみを打ち、とりとめのない雑談に耳を傾けながらの楽しい昼食タイムでした。



一間社春日造りの本殿

川併神社の本殿は、この地方では稀にみる古風な一間社春日造りの様式を伝えているとありました。

昼食後は、ゆっくりと街中を歩き、時の彼方の久居五万石の城下町のたたずまいを想像しながら駅まで歩きました。町の印象は、ゆったりしていて、神社仏閣が多いなというように感じました。ハイキング会の良いところは、健康にはもちろんですが、行ったことのない駅や場所へ連れて行ってもらい、新鮮な経験ができることがうれしいことです。次回もよろしくお願いいたします。皆様お疲れ様でございました。



川併神社



五万石の街中



2024/5/11 春のハイキングコース